

第5回 BeLive SDGs 探究 交流イベント

企業課題から学ぶ
リアル探究活動!!

2024
9/28(土)

13:00 - 17:00 (予定)

会場 ちゅうぎん岡山駅前ビル
4階会議室
(岡山市北区本町2-5)



イベント 内容

企業や行政の課題について 高校生と一緒に考える

(対象：高校生、高校教員、企業・団体担当者)

① 岡山県の気候変動について考える (ゲーム型ワーク・ディスカッション)

② 企業の取組むSDGsの課題について発表
高校生と教育関係者が、企業が抱えるSDGsの課題を考える

③ フリー交流 (参加者同士で自由に交流して頂けます)

高校

- ・企業の取組むSDGsの活動がわかる。
- ・行政の取組について学ぶことができる。
- ・岡山県の環境問題について知ることができる。

企業

- ・自社の取組についてアイデアをもらえる。
- ・高校生の柔軟な発想を知ることができる。
- ・岡山県の環境問題について知ることができる。

BeLive

主催・運営：BeLive実行委員会／共催：一般社団法人岡山経済同友会

【お問い合わせ先】〒700-0942 岡山市南区豊成3-18-7 (株) iプランニングKOHWA内
BeLive実行委員会 事務局：担当 中谷 TEL：086-264-5888 FAX：086-262-1525
WEB：https://www.kwp.co.jp/belive/ E-mail：belive@kwp.co.jp



Facebook



Instagram



WEB サイト

第5回BeLive主旨

弊会では、今年度も県内の高校生によるSDGsや探究活動に関する取組を支援する「第5回BeLive」プロジェクトの一環として、プレゼンテーションイベントを2025年1月に開催する運びとなりました。「第5回BeLive」でも、サブイベントを複数回開催し、高校生と企業が関わり合う機会を設け、ともにSDGsや探究活動に関する課題に挑むことをサポートします。

「第5回BeLive」SDGs探究交流イベントでは、高校生がSDGsや探究活動を進める為に役立つ、岡山の気候変動問題についてのゲーム型ワーク及び、企業が行うSDGsの取組、高校生と検討したい自社のSDGs課題について高校生、教育関係者と企業の方との意見交換会などを行います。

高校生の興味関心をさらに掘り下げ、取組の深化へと寄与できるよう、高校生、教育関係者と企業の関わり合う場を提供いたします。

タイムスケジュール

12:30~13:00 受付

13:00~ 開会

開会挨拶 BeLive実行委員 川崎 好美 氏

13:10~ 「岡山県の気候変動について考える」 ゲーム型ワーク

岡山県 環境文化部 脱炭素社会推進課 主任 網島 健二 氏 コメント

ゲーム型ワーク

ディスカッション

発表

15:05~ 企業の取組むSDGsの課題について発表

取組発表

グループディスカッション

グループディスカッション感想/共有

16:30~ フリー交流

16:55~ 閉会

閉会挨拶 BeLive実行委員 室 貴由輝 氏

参加高校生・教育関係者 参加校一覧 (五十音順)

岡山県立烏城高等学校

岡山県立倉敷商業高等学校

岡山市立岡山後楽館高等学校

岡山県立岡山工業高等学校

岡山県立西大寺高等学校

国立大学法人岡山大学

岡山県立岡山御津高等学校

岡山県立高梁城南高等学校

山陽学園大学

岡山県立鴨方高等学校

岡山県立津山商業高等学校

BeLive実行委員会メンバー

実行委員長

梶谷 俊介 (一般社団法人岡山経済同友会 代表幹事)

実行委員会事務局長

廣野 景治 (株式会社iプランニング KOHWA 代表取締役社長)

実行委員

狩野 光伸 (国立大学法人岡山大学 副理事 SDGs・ダイバーシティ&インクルージョン担当)

天野 久美 (株式会社中国銀行 地方創生SDGs推進部 次長)

藤木 茂彦 (一般社団法人岡山経済同友会 特命理事)

池上 夏穂 (株式会社中国銀行 地方創生SDGs推進部)

服部 俊也 (一般社団法人岡山経済同友会 SDGs推進委員会 委員長)

未 来 (株式会社オーリス)

室 貴由輝 (岡山県教育庁 学校教育推進監)

甲斐 明日香 (服部興業株式会社 総務部 主任)

川崎 好美 (岡山県総合教育センター 指導主事)

金谷 彩 (岡山トヨタ自動車株式会社 営業統括室 教育・店舗企画グループ)

岡山 一郎 (株式会社山陽新聞社 論説委員会 論説主幹)

坂越 生章 (株式会社iプランニング KOHWA 活性化推進室 室長)

BeLive プロジェクト について

「BeLive」は、高校生の持つ柔軟な発想と、岡山に根差す企業・団体の力を掛け合わせたSDGsの取組・発表を通じ、岡山の新しい未来を創造するプロジェクトです。今年度もプレゼンテーションイベントまでにサブイベントを複数開催し、高校生・教員と企業が関わり合う機会を設け、ともにSDGsに関する課題に挑むことをサポートします。

発表企業一覧

A 株式会社エイチ・エス・ピー

SDGs の取組内容

次亜水で健康と快適を創造する

社外にはすべての人、動物の健康を守ります。社内には男女関わらず働きやすく働きがいのある職場を目指しています。また、ペーパーレス化のため、販促物のデータ化に取り組んでいます。

除菌消臭をする次亜塩素酸水を作る生成装置やそれを活用したシステムを製造販売しています。感染症、食中毒、悪臭など除菌と消臭が求められるところならどこでも行きます。

高校生と検討したい自社の SDGs 課題

高校生の思う除菌・消臭イメージを知り、何か一緒にできることを探りたいです



B 岡山トヨタ自動車株式会社

SDGs の取組内容

いま、わたしたちにできること

お客様、社員、地域社会が笑顔になることを目指して、様々な活動を行っています。全社員がワークライフバランス宣言をし行動しています。地域を応援する季刊誌の発刊や、店舗を活用した様々なイベントの開催、カーボンニュートラルの実現や交通死亡事故ゼロ社会の実現に向けた取り組みも行っていきます。防災にも力を入れています。

自動車の販売や点検を通じて、お客様、社員、地域社会の皆様と共に喜び・感動を創造することを目指します。お客様一人ひとりのカーライフに喜び感動を提供し、同時に社員がその喜び感動を共有することを通して、より多くのお客様と、生涯を通してベストパートナーとなる事を使命とし、皆様と共に地域を盛り上げていきます。

高校生と検討したい自社の SDGs 課題

公共交通課題、移動の自由について



C 株式会社サンキョウエンビックス

SDGs の取組内容

CSR(企業の社会的責任)

弊社の場合、企業の社会的責任を果たしていく基本として、地域の、経済発展・雇用創出・環境保全の実現を継続的に実践しています。出来ることからコツコツと活動しています。

弊社は、株式会社として岡山地域の環境保全や労働安全に関する調査分析業、地域の企業が事業活動を行う上で義務として遵守しなければならない環境や安全の法令を遵守する管理のサポートを行っています。また会社は、働く場を提供することを念頭に社員が生きがいと働きがもてる職場環境づくりにも力を入れています。

高校生と検討したい自社の SDGs 課題

岡山の地域の未来はどんな景色、どんな環境になっているのか？、どんな景色、どんな環境にしていきたいのか？から一緒になって創造してみたいです。それから問題課題に繋がれば幸いです



D 藤クリーン株式会社

SDGs の取組内容

環境価値創造企業

建物を建設時、解体時に発生する廃棄物をリサイクル・リサイクルをしている現場やリサイクル品を活用したビオトープを見て、環境について考える教育・地域清掃活動・災害時の対策(避難場所・災害廃棄物の撤去・運搬)。

藤クリーンはコンケン、コンケン不動産の3社のコンケングループで産業廃棄物の収集運搬・中間処理・最終処分、プラスチック資源の中間処理を主な事業として行っています。建設・解体のコンケン、リサイクルの藤クリーン、不動産売買のコンケン不動産と資源循環に貢献し、環境教育にも積極的に取り組んでいます。

高校生と検討したい自社の SDGs 課題

持続可能な環境教育、リサイクル品が生き物に与える影響、SDGs を知らない高校生



E 株式会社 ちゅうぎんフィナンシャルグループ

SDGs の取組内容

金融教育

小学生向けの「ちゅうぎん☆キッズドリーミースクール」、高校生向けの「エコノミクス甲子園岡山大会」、また大学生向けの「ちゅうぎん金融知力講座」など、地域の学生の金融リテラシーを高め、よりよい暮らしを送っていただくために金融教育に取り組んでいます。

当社は、岡山・広島・香川など瀬戸内エリアを中心に営業するグループ会社です。銀行・リース会社・証券会社など、計 13 社のグループの総合力を活用し、お客さまの多様なニーズや社会課題に寄り添い、地域の課題解決や SDGs の達成に取り組んでいます。

高校生と検討したい自社の SDGs 課題

- ・金融教育への取組み
- ・環境課題への取組み



F 株式会社トヨタレンタリース岡山

SDGs の取組内容

地域社会の持続的な発展に貢献

弊社が提供する商品は、企業で使用する車の保有台数の最適化や、ハイブリッド車を使用することで化石燃料の使用削減に貢献します。また地域の環境整備活動や、社員の健康に寄与するマラソン大会の参加費の援助、本社敷地内での献血の実施を支援しております。昨年は RPA ソフトを導入し、一部事務処理を自動化しました。

弊社はリースとレンタカーを中心に事業展開をしており、HV 車・EV 車・水素自動車を提供することでカーボンニュートラルに貢献しております。

高校生と検討したい自社の SDGs 課題

社内に対する SDGs の意識向上や認知向上への取り組み



G 服部興業株式会社

SDGs の取組内容

森林資源を活用した地域の活性化

森林の持つ CO₂ 吸収や災害を防ぐ等の様々な働きを発揮させるために「伐って、使って、植えて、育てる」サイクルは重要です。当社では木材を伐出するだけでなく、カキ筏用材生産という木材の地産地消や新たな活用、植林や環境教育など森林の新たな価値創造と環境への貢献に取り組んでいます。岡山大学と連携した DX も推進中。

創業文政元年（1818 年）。建築土木資材の販売・施工、産業用燃料の卸売、ガソリンスタンド・コンビニエンスストア・コインランドリーの運営、車両販売、保険取り扱い、山林業、不動産管理など様々な分野で岡山の発展に陰ながら貢献しています。

高校生と検討したい自社の SDGs 課題

木材に触れながら新たな木材や森林資源の活用について話し合いませんか。自然のこういったところが好き、や、自然の中でこういうことがしたい、などどんな意見も大歓迎です



H 株式会社山陽新聞社

SDGs の取組内容

高校生のための学習支援サイト「キミスタ」

主に高校生の利用を想定した学習支援サイト「キミスタ」を開発し、今年 4 月から岡山県内の公私立高校向けに試用版を提供しています。現在約 30 校の利用申し込みをいただいております。各校で地域課題に関する情報収集、ニュースを素材にした教材づくり、小論文対策、進路指導などにご活用いただいております。

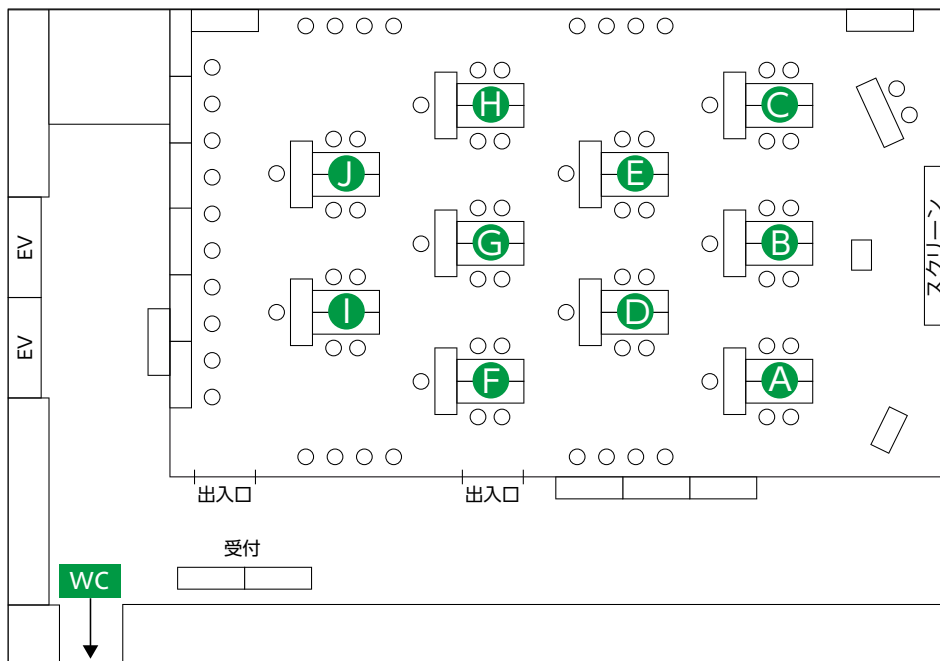
山陽新聞社は、岡山エリアの基幹メディアとして、1879（明治 12）年に創刊しました。基本理念は「地域とともに」。岡山県内と広島県東部で新聞をお届けしているほか、近年はデジタルメディアによる情報発信を強化。さらにイベント開催や教育関連事業などを通じて、さまざまな角度から地域に貢献しています。

高校生と検討したい自社の SDGs 課題

教科学習や総合的な探究の時間、進路選択などの場面で、こういった情報を求めているのでしょうか。また、その情報はこういった手段で得ているのでしょうか。さらに、効果的、効率的な情報収集を進めるためのメディア活用の在り方や、地元紙に期待することなどについて意見交換したいと考えています



第5回BeLive SDGs探究交流イベント会場配置図



会場内でのお願い

- マスクの着用については任意です。手指消毒等の基本的な感染対策をお願いいたします。
- 4階会議室以外のフロアへの立ち入りはご遠慮ください。
- お手洗いは会場を出て右手奥にございます。
- 自販機がございませんので、飲み物が必要な方は、建物を出て左手のコンビニをご利用ください。
- 会場内では、携帯電話をマナーモードにさせていただきますようお願いいたします。

第5回 BeLive プレゼンテーションイベントのご案内

- 日時：2025年1月25日(土) 10:00~17:00 (予定)
 場所：おかもま未来ホール
 (岡山市北区下石井1丁目2-1 イオンモール岡山5F)
 内容：高校生によるSDGsに関する取組のプレゼンテーション・表彰など
 参加申込：募集中~2024年12月9日(月) (予定) (先着順、20チーム程度)
 → 詳細については、webサイトに随時掲載いたします。



イベント参加について

プレゼンテーションイベントへの参加チームを募集中です。

参加をご希望のチームの方は、webサイト「イベント参加について」プレゼンテーションイベントよりお申込ください。



協賛のご案内

弊会では、高校生・高校教員と企業が関わり合う機会を設け、ともにSDGsに関する課題に挑むことをサポートし、取組の深化へと伴走していきます。

事業の趣旨をご理解いただきまして、ご協賛を賜りますようお願い申し上げます。



第5回BeLive 探究活動ブラッシュアップイベント (予定)

高校生が取組んでいる探究活動のまとめを企業・教育関係者の皆様にアドバイスいただけます。

日程：2024年11月16日 (土)

場所：未定

対象：高校生、教育関係者、企業担当者

内容：活動の総仕上げ

参加者アンケート

本日はご参加ありがとうございました。今後のイベント運営の参考にしますので、右記のQRコードよりアンケートにご協力ください。



岡山県版気候変動のミステリーの目的

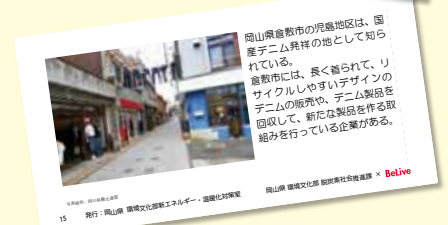
気候変動は、農作物被害や熱中症等の健康被害の増加等様々な影響をもたらしています。

気候変動を抑えるため、その要因である二酸化炭素(CO₂)をはじめとする温室効果ガスを減らす「緩和策」と、既に起こっている、または起こりつつある気候変動の影響にどのように対応していくかを考え、実行に移すための「適応策」を併せて進めていくことが重要です。

気候変動の深刻化とともに世界、日本、そして岡山県で実際に起きていること、これから起きる可能性があることについて学び、気候変動が自分たちの身近な問題であることを認識することが、重要となっています。

「岡山県版気候変動のミステリー」は、これらのことをゲーム感覚で楽しく学ぶことを目的に開発した教材であり、参加者が以下の4つを習得できることを目指しています。

- 1) 気候変動の複雑な要因を理解し、それぞれの関係性を理解できるようになる。
- 2) 気候変動の緩和策や適応策にはどのようなものがあるのか、世界や日本の事例を基に学ぶ。
- 3) 既に起こっている気候変動の影響や、その対策(緩和策や適応策)を理解する。
- 4) 気候変動に関連する岡山県でのさまざまな事象を知ることによって、気候変動の問題を身近なものとして捉える。



ゲームワークの特徴

ゲームワークでは、参加者同士が既に持っている知識や情報を生かし、協力しながら物事の複雑な事実関係を把握し、その構造化を行う(システム思考の開発)ことを目指しています。

ミステリーカードを並べる共同作業の中で、能動性、コミュニケーション能力、説得力等が必要とされるため、伝達する力や、議論の能力の強化、批判的に考える思考、問題解決の力が身につく等の効果も期待できます。

ゲームの進め方

学習内容	参加者の活動	留意事項
ミステリーについて	4人の班に分かれる。	4～5人のグループで行う。
ミステリーの体験	3つの異なる話を注意深く聞き、その後に語られる質問を解決するために、ミステリーカードを並べ替える。	・ミステリーをどのようにして解くのか、カードを使って考えてもらう。 ・線形にカードを並べている班があれば、より複雑に考えるように促す。 ・似た者同士のグループ分けをするものではないことを伝える。
ミステリーの結果発表	・並び替えたミステリーのカードを見せながら、結果発表「なぜこのように並べたのか」を論理的に説明する。 ・他班の発表を聞く。	・カードの並べ方は1つではないことを理解させることが重要。
振り返り	指導者の説明を聞く。ミニワーク等を行う場合は発表する。	・参加者が明らかに間違った解釈で並べている場合は、補足説明を行う。 ・参加者に、気候変動の問題を一言でまとめさせるミニワークも可能。

おかやまSDGsマップ

本日参加いただいた企業様以外にも、県内のSDGsに取り組む企業様がたくさん掲載されています。探究活動にぜひ活用してください。



<https://okadoyu.jp/wp2018/wp-content/uploads/2021/03/SDGs-Maplow.pdf>